

機械学会関西支部・シニア会

第4回機械・産業遺産ツアー報告

本年度第1回（通算第4回）の機械・産業遺産ツアーは平成25年6月7日（金）午後2時から関西電力のご厚意で、日本最初の発電所である琵琶湖疏水を利用した関西電力・蹴上発電所（通常は非公開）で開催されました。

当日は真夏を思わせる好天の下、24名が正面入り口に集合して松久会長の挨拶の後、「水力発電事業発祥之地」の石碑説明からツアーが始まり、発電所内でビデオ・PPを用いた琵琶湖疏水建設から、水力発電所が京都市電を始めとする近代化の礎となった経緯について説明を受けました。その後の質疑応答では前回の遺産ツアーで訪れた南郷洗堰に関する質問など活発な議論が行われました。そして現在稼働している発電機や制御室、第二期発電所を見学した後、駒井名誉教授の謝辞に続き正門前で記念撮影をして終了しました。

その後自由見学となり、多くの会員は蹴上発電所で使われていた発電機が保存されている琵琶湖疎水記念館や山県有朋の別邸だった無鄰菴などを見学しました。5時から開催された有志懇親会にも19名が参加して南禅寺門前の順正本店で名物湯豆腐を賞味し、古都の機械・産業遺産についての話題に花が咲きました。（写真は全て番庄健氏のご提供です）



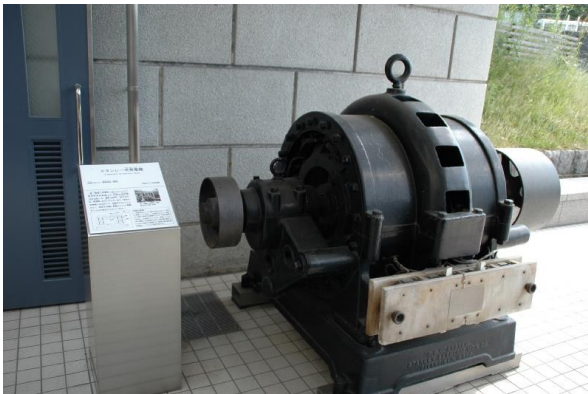
JSME 関西 シニア会 関電蹴上発電所見学 2013.6.7



「亮天功てんこうをたすく」の石額がかかる第二期発電所を背景にして



左右に分岐する導水路、発電機を回した後、疏水へ放流される



琵琶湖疏水記念館に保存されて

いる二相交流発電機 (M27 輸入)

この発電機が横からの雨で濡れるとい
指摘が会員からあり、管理する京都市に
松久会長が問い合わせたところ対策を考
慮中という返事があったとの事で、これ
を機会に何らかの保全対策が施されれば、
今回のツアーの成果でしょう。